

令和6年度シラバス

教科	科目	単位数	履修学年・クラス
外国語	オーラルコミュニケーション	1	2-5～2-7

1. 学習の到達目標

<ul style="list-style-type: none"> ALTのネイティブな英語を聞き、理解し、積極的にコミュニケーションを図る態度を育む。 聞くだけでなく、話すこと[発表]、話すこと[やり取り]にも力を入れる。 日常で使用する英会話表現を身に付ける。
--

2. 学習の計画

	学習内容	学習のねらい
1 学期	Lesson1 アヤと呼んでね Lesson2 僕のサッカーユニフォーム Lesson3 ニンジンが嫌い Lesson4 あとで連絡します	<ul style="list-style-type: none"> 自己紹介ができる。文法：call 人～ 物を指してそれが何か述べるができる。文法：疑問詞 好き嫌いについて話すことができる。文法：一般動詞とその否定文 連絡に関するやり取りをすることができる。文法：一般動詞・be動詞
2 学期	Lesson5 何を勉強しているの？ Lesson6 どれが一番いい？ Lesson7 自分で聞けるよ Lesson8 手伝ってくれない？ Lesson9 短くしなくては Lesson10 発表をやります Lesson11 電源ボタンを押したの？	<ul style="list-style-type: none"> 今何をしているのか話すことができる。文法：進行形 2つ以上のものを比べて話すことができる。文法：比較 何かができると伝えることができる。文法：助動詞 can (可能) 手伝ってほしい内容を伝えることができる。文法：助動詞 can (依頼) すべきことについて話すことができる。文法：助動詞 should・must 予定や意向について話すことができる。文法：未来表現 完了したことについて話すことができる。文法：現在完了形(完了)
3 学期	Lesson12 バンジーやったことある？ Lesson13 いつ建てられたの？ Lesson14 雨なら行きません Lesson15 自分で作ったバッグ	<ul style="list-style-type: none"> 経験したことについて話すことができる。文法：現在完了形(経験) 「～される」という表現ができる。文法：受動態 「もし～なら…だ」という話しができる。文法：接続詞 if 人やものを関係節を使って説明することができる。文法：関係代名詞

3. 評価方法・評価の観点

評価方法	考査による評価、提出物等授業態度による総合評価
------	-------------------------

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	音声、文法などの英語の特徴を理解する。コミュニケーションを行う目的や場面などに応じて、聞いて内容を理解し、話したり書いたりして伝える技能を身に付けている。	目的・場面・状況に応じて必要な意図や要点などを捉え、気持ちなどを表現する。	情報や考えを捉えようとしているか、情報や考え、気持ちなどを表現しようとしている。

4. 使用教科書・副教材

使用教科書	Speak Up now! スピーキングを定着させる15レッスン(数研出版)
副教材	なし